

# いわて復興だより

がんばろう！岩手、つながろう！岩手

## 三陸復興

第58号  
(平成26年2月15日号)  
岩手県

復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波。震災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げます。この「つながり」を大切にしていきたいと思っております。

例年になく岩手県沿岸地域も大雪に見舞われ、より一層春の訪れを待ち遠しく思います。復興に向けて歩み続ける岩手の今を紹介します。

## 「恋するフォーチュンクッキー 岩手県・三陸鉄道南リアス線バージョン」の再生回数が37万回突破！

### 三陸鉄道、4月の全線運転再開に沿線市民らの機運高まる

動画サイト You Tube 内の「AKB48 公式チャンネル」で配信されている「恋するフォーチュンクッキー 岩手県・三陸鉄道南リアス線バージョン」の再生回数が37万回を超えました。

この動画は、三陸鉄道南リアス線及び沿線地域の魅力や、復興に向けて歩む様子を国内外に発信することを目的に、岩手県、三陸鉄道、さんてつジオラマカフェ@釜石駅、いわて未来づくり機構、NPO 法人夢ネット大船渡が中心となって製作し、昨年12月29日から配信されているもの。三陸鉄道社員や同沿線の自治体、事業所の職員、及び住民たちが、人気アイドルグループ AKB48 のヒット曲「恋するフォーチュンクッキー」と同じ振付けで踊る様子が収録されています。

撮影は、三陸鉄道南リアス線の盛駅（大船渡市）から

釜石駅（釜石市）までの沿線10駅周辺61ヶ所で行われ、約1,000人が踊りに参加しました。

製作にあたった三陸鉄道南リアス線運行部 菊池弘充さんは「小学校、高校、漁港など、手分けをして撮影の協力をお願いしました。当初、参加した住民のみなさまには戸惑いもありましたが、動画公開後は反響も大きく再生回数も増え、撮影に参加して良かったという声が届いています。復興に向け、沿線地域が一体となっている姿をご支援いただいた全国のみなさんに感じてもらいたい」と意気込みを話しました。

東日本大震災津波で甚大な被害を受け、一部運休が続いていた三陸鉄道は、平成26年4月、北リアス線、南リアス線ともに全線で運転を再開します。



大船渡つばき娘 with おおふなトン



大船渡市役所 戸田市長 with 岩手職員



三陸鉄道 南リアス線運行部



釜石市長・副市長 with 釜石市民の皆様

写真は収録された映像より

詳しくは [恋するフォーチュンクッキー 岩手県・三陸鉄道南リアス線バージョン](#)

検索

## 写真展「復興カメラ」が首都圏で開催されました

東京都千代田区

平成26年2月9日（日）、3331 Arts Chiyoda（アーツ千代田3331：東京都千代田区）にて、写真展「復興カメラ」（主催：岩手県沿岸広域振興局など）が開催されました。

これは、東日本大震災津波からまもなく3年を迎えようとする中、復興に向けて取り組む被災地の様子を伝え、東日本大震災津波の記憶を風化させることなく、今後の支援につなげるために開催されたもの。

会場には、特定非営利活動法人@リアス NPO サポートセンターのスタッフが、主に釜石市、大槌町の震災直後から今にいたるまでの復興へ歩む姿を撮影した写真約110点が展示され、同スタッフが来場者に写真の説明を

行いました。

また、釜石市在住の井筒健太郎さんがパワーポイントや映像を使い、震災当時の様子を語るなど、首都圏に向けて被災地からのメッセージを発信しました。



写真展の様子



震災当時の様子を説明するスタッフ

## いわて復興応援団(員)大募集中！

知って、買って、食べて、行って応援！

登録無料



首都圏等にお住まいの方を対象に、応援団員（個人）と応援団（法人及び団体）の登録を募集しています。登録者には岩手県の復興の取り組みや観光・物産・首都圏でのイベント情報などをお届けします。

詳しくは岩手県東京事務所ホームページをご覧ください。

[いわて復興応援団](#)

検索

# 「いわての復興を自治の進化に」 第1回シンポジウム が開催されました

盛岡市

平成26年2月6日（木）、7日（金）、「いわての復興を自治の進化に」第1回シンポジウムが開催されました。

これは、全国自治体からの派遣職員、民間団体や企業の職員など、岩手県の復興にご協力いただいている方々への感謝と、引き続き復興へのご理解とご支援をお願いするために開催されたものです。

7日（金）、会場となった岩手県教育会館では、沿岸自治体からの発表や派遣元の自治体に戻った職員の方の活動などが発表されました。

この中で、大阪府から派遣されていた元派遣職員の水谷経輔さんは、大阪府の防災への取組を紹介し「岩手県で経験したことや学んだことを、今後予想される南海トラフ地震等、関西地域の防災に役立てたい」と語ると同時に、全国と岩手県のつながりを発表しました。



シンポジウムの様子

# 平成25年度 「復興シーフードショー IWATE」 が開催されました

盛岡市

平成26年2月10日（月）、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング4階のメトロポリタンホールで、平成25年度「復興シーフードショー IWATE」（主催：岩手県ほか）が開催されました。

これは、東日本大震災津波で被害を受けた水産業の復興を広く発信し、さらなる復興の加速を図るものです。

会場では、平成25年度（第15回）岩手県水産加工品コンクール（出品数：33社、132品）、展示商談会、漁協女性部による浜料理のお振舞、高度衛生品質管理地域づくりのパネル展示、水産業の復旧・復興スライド上映などが行われ、復興の現状とともに、岩手県水産加工品の魅力を発信しました。

オープニングセレモニーでは達増知事が「岩手の海の幸の魅力が岩手の復興につながる」と挨拶。主要産業である水産業の復興への期待を述べていました。



シーフードショーの会場

被災地・三陸の復興へ向け、多くの若者が情熱を注いでいます。連載「未来のさんりくびと」では、毎号、復興への熱い想いを秘めた若者を紹介していきます。

第13回目は、君ヶ洞 剛一さんを紹介いたします。

## PROFILE

釜石市出身。高校まで釜石市で過ごす。

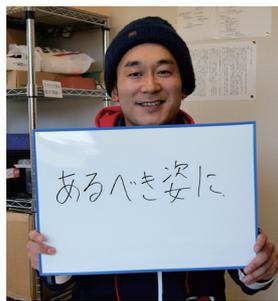
大学卒業後、百貨店に勤務。2007年に釜石に戻り、家業を継ぐべく、ヤマキイチ商店に入社。

インターネットを通じ、主力商品である「泳ぐホタテ」を中心に、地元の海産物を全国の食卓にお届けする通信販売業を営む。

現在も海産物の目利きのプロとして活躍している。



ヤマキイチ商店  
専務取締役  
君ヶ洞 剛一  
(きみがほら たけいち) さん



君ヶ洞さんからのひと言：  
あるべき姿に

上げると、お客様に三陸の美味しいものを食べてもらって、喜んで笑顔になっていただくのが自分にとっての復興だと思う。自分たちの都合で復興するのではなく、少しでも世の中のお役に立ちたいという想いからやらせてもらっている」と販売業を営む姿勢を語ります。

## 安定した浜の様子を報告したい

前浜（まえばま：釜石市平田町）では、昨年の夏にはウニ漁が再開し、同年11月からは、本格的なアワビ漁が再開しています。

「昨年のアワビ漁は、震災の前の年の水揚げ量を超えた反面、漁師さんの減少、施設の整備など、時間がかかっているところもある。三陸の海産物は安売りするものが一つたりともないと思っている。復興支援というくくりもありがたいが、本当にいいもの、ちょっとしたぜいたくを味わう時に是非、三陸のものを食べていただきたい。お客様のために一日も早く、安定した浜の様子を報告できれば、それが一番だと思っている」と復興への想いを語りました。

お客様に喜んでもらい、笑顔になっていただく

東日本大震災津波によって大きな被害を受けた、三陸の海産物。復興とともに、三陸の海の幸の魅力を伝えようと、ヤマキイチ商店（釜石市）の君ヶ洞剛一さんは日々の業務に追われています。

「三陸の海産物を販売している立場から申し

## 岩手県の被害状況

平成26年1月31日現在

- ▶ 人的被害 死者（直接死）：4,672名 行方不明者：1,142名
- ▶ 建物被害（住家のみ、全半壊） 25,705棟

被害状況等の詳細

義援金・寄付金の募集等

[いわて防災情報ポータル](#)

[検索](#)

## 皆様のご支援、ありがとうございます

平成26年1月31日現在

- ▶ 義援金受付状況 約178億5,943万円（87,052件）
- ▶ 寄付金受付状況 約186億8,803万円（6,579件）
- ▶ いわての学び希望基金受付状況 約62億6,919万円（12,017件）

※被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。

ビジュアル豊富な【いわて復興だより [Web](#)】もご覧ください!!

<http://iwate-fukkoudayori.com>

いわて復興だより 第58号 平成26年2月15日 企画・発行：岩手県復興局総務企画課 ☎019-629-6925

いわて復興だよりバックナンバーは

[いわて復興だより](#)

[検索](#)

編集・印刷：シナプス